

スポーツのチカラ まちのミライ



2030年北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、
私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？
2020年東京オリンピック・ソフトボールでメダルを獲得した山本優さんにお話を伺いました。

自国開催で感じた応援のチカラ
子どもたちの夢と挑戦を応援したい



東京2020オリンピックソフトボール 金メダリスト
山本 優さん

1988年生まれ、札幌市出身。小学2年生の時兄の影響で野球を始め、当別高校でソフトボールに転向。2020年東京オリンピックでは全6試合で2本の本塁打と5打点を記録し、不動の4番打者として金メダル獲得に貢献。2021年現役引退。

取材協力:TOKUMITSU COFFEE

無観客試合でも支えてくれた応援
改めて実感したスポーツのチカラ

東京2020オリンピックでのソフトボールは、3大会・13年ぶりの競技実施で、自国開催ということもあり、金メダルの獲得がチームにとつての「絶対的使命」でした。全試合無観客での開催ではありましたが、選手村のゲートに掲げられた垂れ幕や鉢植えのメッセージなど、皆さんの応援がごく身近に、リアルタイムで感じられて嬉しかったです。またコロナ禍の厳しい状況下でも奔走してくれた大会関係者やボランティアの方々の献身的なサポートも、私たちの心強い支えでした。自国開催であったからこそ、皆さんの応援があったからこそ金メダルだったと心から感謝しています。

オリパラは世界を広げるチャンス

地元・札幌で子どもたちの夢を応援したい

昨シーズンで現役を引退し、今は10年ぶりに地元・札幌でソフトボールの指導を行う傍ら、学区制限で競技を続けられない女子中学生のためのクラブチームを創設準備中です。これまで私が競技を続けられたのは、たくさんの方からの支援や応援があったからこそ。今度は、私が子どもたちの夢を応援する番です。子どもたちには技術だけではなく、私が競技生活の中で学んだ、人と人との繋がりの大切さや思いやりの心、挑戦する気持ちを学んで欲しい。2030札幌冬季オリパラは、子どもたちが新たなスポーツと出合い、世界に目を向けられる絶好の機会だと思います。招致を機に未来へ向けた街づくりが進み、子どもたちが夢を持てる社会、挑戦できる社会になつて欲しいと願っています。



50th
Anniversary
歴史と感動を、
次の世代へ

問い合わせ先
札幌市スポーツ局招致推進部調整課
☎011-211-3042

SAPPORO